

# BELLUNA

Interim Business Report **ベルーナ**

## 第31期 中間株主通信

平成18年4月1日～平成18年9月30日 証券コード: 9997



### ↑ ビタナリッシュクリーム (オージオ)

うるおい・ハリ・ツヤ・キメといったさまざまな肌トラブルに働きかけ、トータルで美肌に導く美容クリーム。お客様のリピート率も高く、オージオブランドの中核アイテムとして多くの女性から愛されています。

〈表紙特集〉

当期の  
ヒット商品

### お客様の声から生まれたジーンズ →

「履きやすくてかっこいいジーンズが欲しい!」という声から生まれた、インディゴ、サックス、ホワイト、ブラックのジーンズ4本セット。ディテールへのこだわりはもちろんのこと、シルエットの美しさも追及。股下は4サイズ、ウエスト・ヒップも9サイズから選べ、自分にぴったりのサイズが見つかる評判の逸品です。



## 「通販総合商社」への第一歩を踏み出しました。

### 当期の概況

当中間期の連結ベースの業績は売上高が4.3%増の587億円、経常利益が8.0%増の53億円、当期純利益が2.9%増の29億円となりました。

近年、カタログ通販は同業の通販会社に加え店舗・インターネット等が入り乱れた厳しい販売競争が続いております。主力のカタログ事業は昨年同期より回復基調を辿っておりますが、当中間期は新カタログの投入効果もあり5%台の伸びを確保しました。一方、単品通販事業は売上高の伸びこそ低い水準にとどまりましたが、高い利益成長率を実現しました。また、アドバンスド・ファイナンス(A・F)事業は高い成長性と収益性を維持しており、両事業ともにベルーナを支える中核事業として業績を牽引しています。

### 外部環境の変化

通信販売業界はEコマースや単品通販の牽引により、全体としては高い伸びが続いています。しかし同時にメーカーの通販参入や店舗面積の拡大も続いており、競争は激化の一途を辿っています。

当社は、成長性と収益性のバランスに目配せをしたポートフォリオ経営を更に進化させた「通販総合商社」という新しいビジネスモデルを立ち上げ、全天候型経営を推し進めております。このような取組みが、厳しい環境下において安定的且つ継続的な成長に繋がっているものと考えます。しかし前述の通り外部環境は年々厳しさを増し、今後ますます変化対応能力が問われてまいります。特に、当社の関わる分野ではインターネット・モバイルへの対応、競争激化に伴う単品通販の伸び率鈍化、消費者金融における法改正問題、コンプライアンス対応等が課題として挙げられます。

しかし、このような厳しい環境こそ次の飛躍へのチャンスと捉え、基本的に忠実に取組みを進める所存であります。

### 「あすなる計画」の取組み状況

当社は平成17年12月に中期5ヵ年経営計画「あすなる計画」を策定。ビジネスモデルの発展的転換を図り、次の成長シナリオを描くとともに、顧客満足度の更なる向上を目指しております。

### Contents

- 1-2 株主の皆様へ 3 ベルーナ新展開 4 トピックス 5 カタログラインアップ 6 連結業績の推移 7-8 連結財務諸表(要旨)  
9 株式の状況 10 会社の概要

「あすなる計画」達成に向け、  
既存事業の強化と、  
新規事業の拡大に取り組んでいます。



そのシナリオに沿って、当中間期においてはカタログ事業では新カタログの定着化に取り組んでいます。また、品質向上・コスト削減・リードタイム短縮といった課題の解決を図るため、引き続きサプライチェーンマネジメントの構築を進めております。A・F事業では、好調な韓国のファイナンス事業が当中間期より連結対象に加わった効果もあり、計画を上回る業績を示しています。同事業は、日本国内でのB to C、B to Bファイナンス事業と併せて、今後とも高い成長性と収益性を確保してまいります。また、BOT事業では当社のインフラを活用した受託事業が本格スタートしました。新たな収益の柱を構築すると同時に、外部からの厳しい要求に晒される事で、結果として顧客サービス部門のコスト削減とサービスレベル向上を同時に実現できるものと確信しております。

当社の事業はお客様1人1人の信頼と支持の上に成り立ち、その期待に応え続けることにより成長出来るものと考えます。今後も、創業以来の理念である「顧客

志向・顧客密着」をモットーに「健全なる冒険」の精神で、計画達成に向け邁進してまいります。

#### 株主還元

「あすなる計画」では、企業価値の増大を継続的に図り、その価値をすべてのステークホルダーと分かち合うという方針を掲げております。当中間期では業績の進捗を鑑み、また、株主の皆様の日頃のご支援に少しでも報いたいと考え、初めて中間配当を実施することいたしました。通期におきましては、配当金と自社株買いの合計額が連結当期純利益の30%とすることを目標とし、皆様のご支援に応える所存であります。

今後とも、当社および各事業へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月

代表取締役社長 安野 清

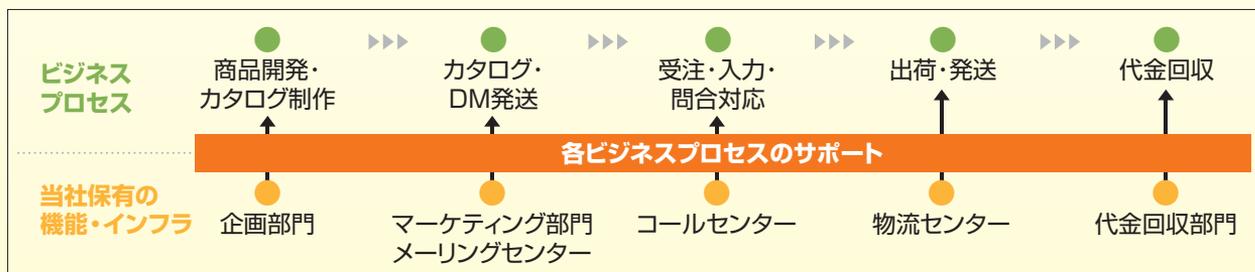
## ▼ ベルーナ新展開

### DMS事業 ～通販ビジネスプロセスの活用～

「DMS事業」とはダイレクトマーケティングソリューション (Direct Marketing Solution) の頭文字を取って名付けました。通信販売におけるビジネスプロセスに関わる機能・インフラを活用し、クライアント企業のビジネスを支援する事業として平成18年から本格展開を開始しました。メーカーなどによる通信販売業界への参入が増加する中、そのサポート役を果たすことで、事業領域と収益源の拡大を目指しています。



▲カタログ封入作業風景(メーリングセンター)



### 韓国ファイナンス事業 ～市場の拡大～

ベルネット クレジット カンパニー リミテッドは当社の100%子会社であり、韓国でファイナンス事業を行っています。日本で蓄積した金融のノウハウをお隣の韓国に移植し、新しい収益源を獲得しました。数年かけてテストを繰り返しておりましたが、最近成功のキーファクターを見出すことが出来、前期から業績が急拡大。当期から連結対象としました。今後も、アドバンスド・ファイナンス事業を支える新たな柱として、採算と成長性のバランスを取りながら経営を進めてまいります。



◀ベルネット クレジット  
ホームページ  
([www.bell-net.co.kr](http://www.bell-net.co.kr))



店内風景▶

## ▼トピックス

### ●物流センター増築

中期5カ年経営計画「あすなる計画」に基づく各事業の成長に備え、領家丸山流通システムセンター（埼玉県上尾市）を増築いたしました。その結果、入荷・出荷能力、保管品質、搬送能力は大幅に向上。例えば、出荷能力は定時間操業で1日45,000件と約70%も高まりました。オペレーションコストの低減に努めるとともに、スピーディー且つ確実なオペレーションで顧客満足度の向上に努めてまいります。



▲地上7階建て、総面積11,200坪の領家丸山流通システムセンター

#### ◎主要改善事項

- 自動倉庫増設
- フェイス棚増設
- 入荷・検品エリア改造
- 仕分けソーター増設
- 貨物エレベーター増設

### ●通販カード 利用サービス開始

平成18年8月から通信販売大手3社で使用可能な商品券「通販カード」の利用が可能になりました。通販カードは、お祝いやお礼などの様々なシーンでギフトとしても使えるため、徐々に利用が広まってくるものと思われます。成長を続ける通信販売市場において、お客様にとってより使い勝手の良い通販会社を目指し、今後も利便性の向上に取り組んでまいります。



▲500円、1,000円、3,000円、5,000円の4種類。現金を追加してのご利用も可能です。

### ●中間配当の実施

当社は、当期純利益の30%を配当と自社株式の取得にあてることを株主還元方針としております。この方針の下、当期業績や今後の経営環境等を勘案しつつ、株主の皆様へ少しでも早く、また確実に利益還元したいと考え、中間配当を実施することにいたしました。なお、1株当たりの中間配当金は7.5円です。また、期末配当金は1株当たり7.5円、当期の年間配当金は合計で15円を予定しております。

※前期（平成18年3月期）の配当金は30円ですが、4月1日付で1:2の株式分割を行いましたので、当期の予想配当金は、実質的に前期と同額です。

## ▼ カタログラインアップ

当社では、マインド年齢  
や趣味・趣向に合わせ、  
総合型・専門型のカタ  
ログを実に年間30種類  
以上も発行しています。ま  
たインターネット・モーバ  
イルにも対応しています。



▲ **ベルーナ**  
ミセス向け総合ファッション  
カタログ



▲ **ルアール**  
30代向けレディス総合  
ファッションカタログ



▼ **リュリュ**  
20代向けレディス総合  
ファッションカタログ



▲ **ルフラン**  
ミセス向け総合ファッション・  
雑貨カタログ



▲ **素敵な生活**  
総合生活雑貨カタログ



▲ **ベルーナネットショップ**  
[www.belluna.net](http://www.belluna.net)



▲ **リュリュモバイルサイト**  
[m.m.ryuryu.jp](http://m.m.ryuryu.jp) (各キャリア共通)



▲ **いきいき家族**  
食と花の専門カタログ



▲ **マイワインクラブ**  
ワイン専門カタログ



▲ **リフレ**  
サプリメント専門カタログ



▲ **オージオ**  
化粧品専門カタログ

**【お問合せ】** ※カタログをご希望の方は右記にお問合せください。 ☎ **フリーダイヤル 0120-85-7890**

※お届けするカタログは最新号です。お時間がかかる場合がございますので予めご了承ください。

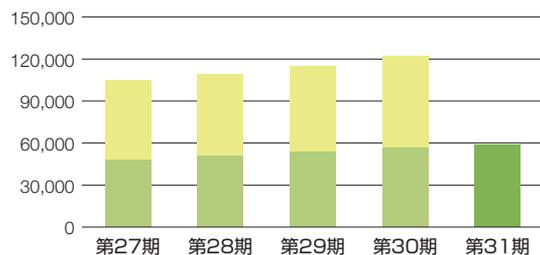
## ▼ 連結業績の推移

(単位: 百万円)

	第27期		第28期		第29期		第30期		第31期
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期
	平成14年9月	平成15年3月	平成15年9月	平成16年3月	平成16年9月	平成17年3月	平成17年9月	平成18年3月	平成18年9月
売上高	48,004	105,126	50,651	109,626	53,494	115,098	56,359	121,938	<b>58,796</b>
経常利益	4,313	10,793	4,482	11,092	4,749	11,589	4,921	12,118	<b>5,317</b>
中間(当期)純利益	2,494	6,253	2,576	6,490	2,801	6,777	2,899	6,935	<b>2,983</b>
1株当たり利益(円)	115.91	291.61	121.46	306.57	121.38	293.63	114.84	274.95	<b>56.24</b>
総資産	79,110	86,255	85,917	93,256	90,399	97,015	109,775	119,253	<b>126,333</b>
純資産	34,819	37,342	39,398	42,703	44,930	48,920	50,984	57,197	<b>61,970</b>
総資本利益率(ROA)(%)	—	13.2	—	11.8	—	12.0	—	10.9	—
株主資本利益率(ROE)(%)	—	17.8	—	16.2	—	14.8	—	13.1	—

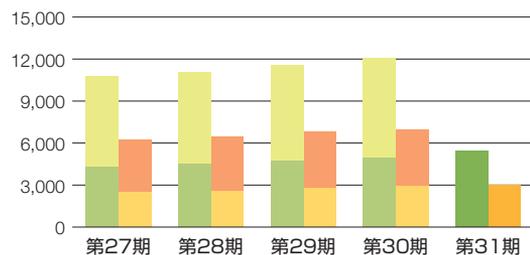
■ 売上高(百万円)

■ 中間期

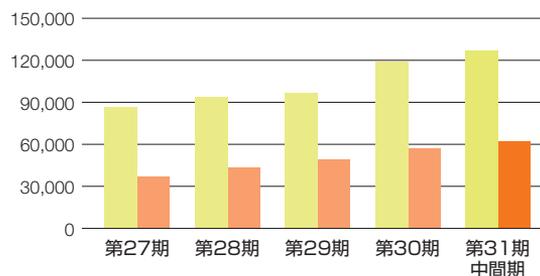


■ 経常利益 ■ 中間(当期)純利益(百万円)

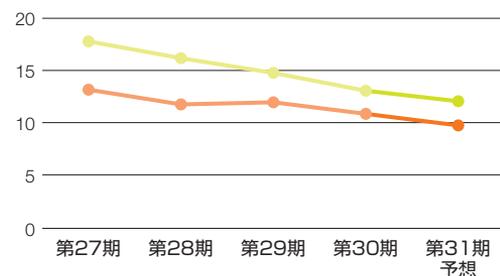
■ 中間期



■ 総資産 ■ 純資産(百万円)



■ 株主資本利益率(ROE) ■ 総資本利益率(ROA)(%)



## ▼ 連結財務諸表(要旨)

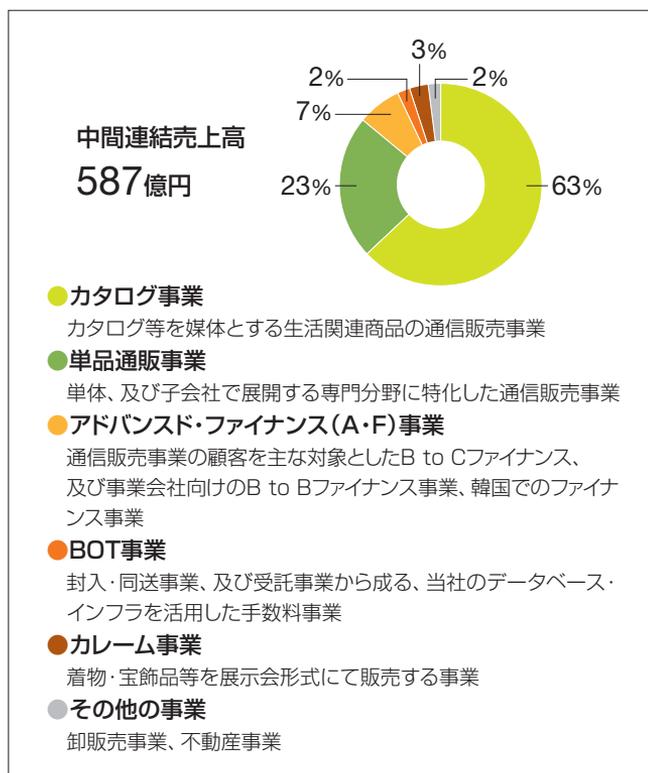
### 貸借対照表

前中間期に比べ、資産合計で16,558百万円増加しました。これは、A・F事業が好調なことにより、営業貸付金(流動資産)が14,486百万円増加したことが主な要因です。

### 損益計算書

売上高の伸び率は、カタログ事業が5.3%増、単品通販事業が4.4%増、A・F事業が37.5%増となりました。

一方、営業利益の伸び率は、カタログ事業が16.6%増、単品通販事業が57.6%増、A・F事業が30.6%増など高い伸びを示し、収益性が向上しています。



### 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円未満切捨)

	第30期(中間) 平成17年9月	第31期(中間) 平成18年9月	第30期(期末) 平成18年3月
<b>◎資産の部</b>			
流動資産	71,944	84,794	80,168
固定資産	37,831	41,538	39,084
有形固定資産	27,505	28,669	27,514
無形固定資産	1,223	1,457	1,281
投資その他の資産	9,102	11,411	10,288
<b>資産合計</b>	<b>109,775</b>	<b>126,333</b>	<b>119,253</b>
<b>◎負債の部</b>			
流動負債	38,554	47,102	44,089
固定負債	20,178	17,261	17,853
<b>負債合計</b>	<b>58,732</b>	<b>64,363</b>	<b>61,942</b>
<b>◎純資産の部</b>			
株主資本	—	61,413	—
資本金	—	10,601	—
資本剰余金	—	10,997	—
利益剰余金	—	45,497	—
自己株式	—	△5,682	—
評価・換算差額等	—	427	—
少数株主持分	—	128	—
<b>純資産合計</b>	<b>—</b>	<b>61,970</b>	<b>—</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>—</b>	<b>126,333</b>	<b>—</b>
<b>◎資本の部</b>			
資本金	7,199	—	8,393
資本剰余金	7,595	—	8,789
利益剰余金	39,207	—	43,242
その他	497	—	676
自己株式	△3,515	—	△3,905
<b>資本合計</b>	<b>50,984</b>	<b>—</b>	<b>57,197</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>109,775</b>	<b>—</b>	<b>119,253</b>

## 中間連結損益計算書

(単位: 百万円未満切捨)

	第30期(中間) 平成17年9月	第31期(中間) 平成18年9月	第30期(期末) 平成18年3月
<b>売上高</b>	<b>56,359</b>	<b>58,796</b>	<b>121,938</b>
<b>売上総利益</b>	<b>32,550</b>	<b>34,598</b>	<b>70,536</b>
販売費及び一般管理費	28,011	29,341	59,274
<b>営業利益</b>	<b>4,539</b>	<b>5,256</b>	<b>11,261</b>
営業外収益	692	456	1,499
営業外費用	310	396	643
<b>経常利益</b>	<b>4,921</b>	<b>5,317</b>	<b>12,118</b>
特別利益	19	123	82
特別損失	116	12	474
<b>税金等調整前中間(当期)純利益</b>	<b>4,824</b>	<b>5,428</b>	<b>11,726</b>
法人税、住民税及び事業税	1,965	2,536	4,990
法人税等調整額	△40	△112	△247
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>2,899</b>	<b>2,983</b>	<b>6,935</b>

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円未満切捨)

	第30期(中間) 平成17年9月	第31期(中間) 平成18年9月	第30期(期末) 平成18年3月
営業活動によるキャッシュ・フロー	△771	△6,846	△1,609
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,695	△6,255	△1,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,111	6,960	14,802
現金及び現金同等物に係る換算差額	79	△18	131
現金及び現金同等物の増加額・減少額	9,724	△6,160	11,424
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	18,260	14,811	19,960

## 中間連結株主資本等変動計算書(第31期(中間) 平成18年9月)

(単位: 百万円未満切捨)

	株主資本					評価・換算 差額等	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
平成18年3月31日残高	8,393	8,789	43,242	△3,905	56,520	676	119	113	57,430
<b>中間連結会計期間中の変動額</b>									
増資による新株の発行	2,117	2,117	—	—	4,235	—	—	—	4,235
転換社債の転換	90	89	—	—	179	—	—	—	179
新規連結による増加	—	—	43	—	43	—	—	—	43
剰余金の配当	—	—	△772	—	△772	—	—	—	△772
中間純利益	—	—	2,983	—	2,983	—	—	—	2,983
自己株式の取得	—	—	—	△1,777	△1,777	—	—	—	△1,777
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△249	△119	15	△353
<b>中間連結会計期間中の変動額合計</b>	<b>2,208</b>	<b>2,207</b>	<b>2,254</b>	<b>△1,777</b>	<b>4,893</b>	<b>△249</b>	<b>△119</b>	<b>15</b>	<b>4,539</b>
平成18年9月30日残高	10,601	10,997	45,497	△5,682	61,413	427	—	128	61,970

## ▼ 株式の状況 (平成18年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数 ……………130,000,000株  
 発行済株式の総数 ……………56,585,228株  
 株主数 ……………6,134名

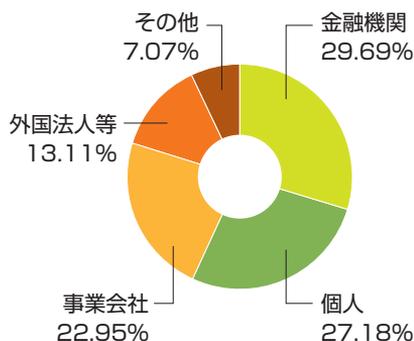
注1) 発行済株式の総数は前期末に比して、29,583,500株増加いたしました。

注2) 平成18年3月31日最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載された株主に  
 対し、その所有株式1株につき2株の割合をもって株式の分割を行っており  
 ます。

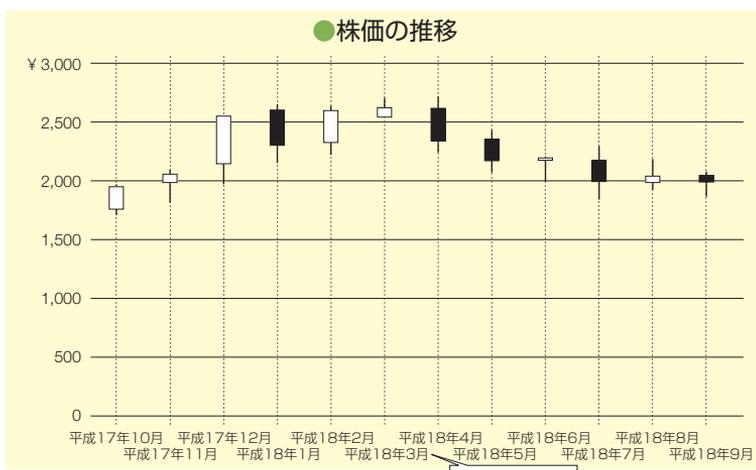
●大株主 (上位10名)	●当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
安野 清	10,598	18.73
株式会社フレンドステージ	7,814	13.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	4,499	7.95
有限会社日本リボワール	4,359	7.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	3,617	6.39
全国共済農業協同組合連合会	1,933	3.42
安野 公	1,662	2.94
野村信託銀行株式会社	1,338	2.37
資産管理サービス信託銀行株式会社	1,166	2.06
ジェーピーモルガンチェースバンク	1,141	2.02

注) 信託銀行各々の持株数には、信託業務に係る株式が含まれております。

### ●所有者別株式分布状況



### ●株価の推移



※平成18年4月1日付をもって、株式1株を2株に分割しております。

※株価を連続的に捉えるため、平成18年3月以前の株価は、株式分割後の値に調整しています。

## ▼ 会社の概要（平成18年9月30日現在）

- 商号 株式会社ベルーナ
- 資本金 106億01百万円
- 代表者 安野 清（代表取締役社長）
- 創業 昭和43年9月
- 設立 昭和52年6月
- 従業員数 1,157名（連結）
- 事業内容 衣料品、生活関連用品などのカタログ等による通信販売事業等

### ● 主な事業所

本社

（埼玉県上尾市）

本館

（埼玉県上尾市）

東京本部

（東京都新宿区）

アネックスビル・第2アネックスビル

（埼玉県上尾市）

北関東オーダーレセプションセンター

（埼玉県鴻巣市）

川越オーダーレセプションセンター

（埼玉県川越市）

領家丸山流通システムセンター

（埼玉県上尾市）

宇都宮流通システムセンター

（栃木県粟野町）

領家山下クリニックセンター

（埼玉県上尾市）

領家山下流通システムセンター

（埼玉県上尾市）

川越メーリングセンター

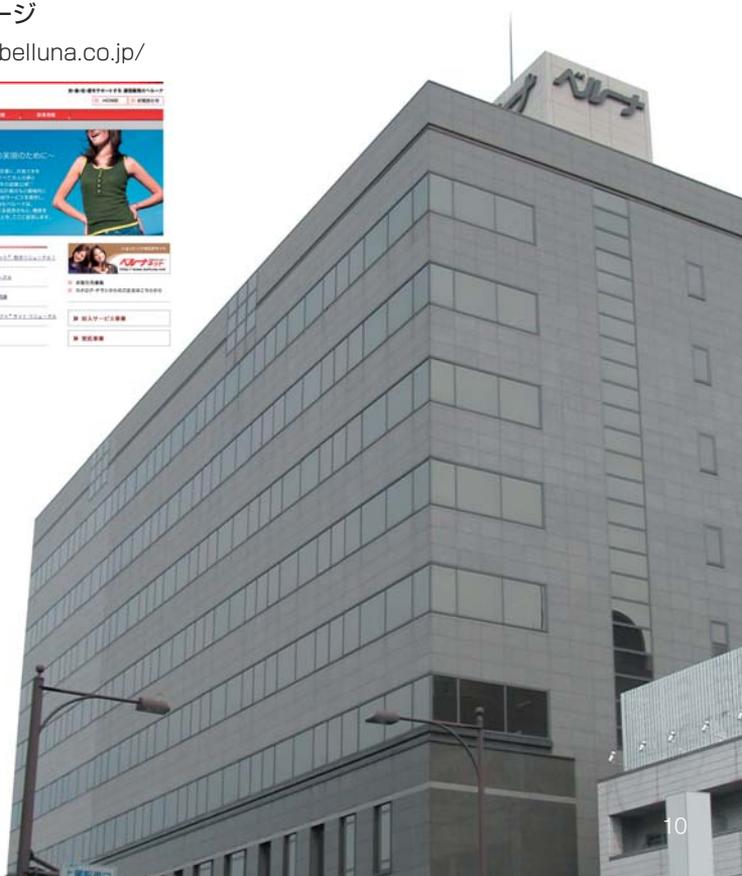
（埼玉県川越市）

### ● 役員

代表取締役社長	安野 清
常務取締役	島野武夫
取締役	穴戸順子
取締役	形部幸裕
取締役	生川雅一
常勤監査役	古橋 公
監査役	中村 勲
監査役	渡部行光

### ● ホームページ

<http://www.belluna.co.jp/>



## ▼ 株主メモ

決 算 期	3月31日
利益配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定 時 株 主 総 会	6月下旬
基準日（定時株主総会関係）	3月31日
株 主 名 簿 管 理 人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-707-696（フリーダイヤル）
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
決 算 公 告 掲 載	当社ホームページに掲載 <a href="http://www.belluna.co.jp/">http://www.belluna.co.jp/</a>
そ の 他 の 公 告 掲 載	日本経済新聞

### お知らせ

1. 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル☎0120-864-490で24時間承っておりますので、ご利用下さい。
2. 配当金を郵便貯金口座へお振込みすることができるようになりました。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので株主名簿管理人に指定書用紙をご請求下さい。

株式会社 **ベルーナ**

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4番2号

TEL: 048-771-7753 (代表)

(ホームページ) <http://www.belluna.co.jp/>



本誌は古紙配合率100%の再生紙に大豆インクを使用して印刷しています。